

こじま さとし
小島 慧 さん(30代)

<会津若松市>

古着屋経営
(起業)

2021年 Iターン

会津若松に
古着を通して
新しい風を起す。

古着店の夢を会津で叶えるIターン

『城下町会津の中で、観光客に人気のエリアが「七日町通り」です。大正ロマンの建物や会津漆器のカワイイお店、昔ながらの重厚な建築物に酒蔵、洒落なお菓子屋さんなど、新旧が入り交じった散策にお薦めの通りです。その近くに2021年12年、空き店舗を活かした古着屋さんがオープンしました。』

長野県に生まれ、会津若松市に移住した小島さん。会津若松市で古着屋を始めのきっかけ、オープンするまでの準備、住んでみての感想など、小島さんがオーナーを務めるアンティークのお店VACFF(バクフ)にお伺いして取材しました。』

取材日 2022年10月13日

移住のきっかけと商売の準備

<移住のきっかけ>

昔から古いものが好きで、最初の就職先は関東のNPO法人でした。NPO法人の活動の中で古着を扱っていたという感じです。その頃知り合った骨董屋さんが会津若松市在住の方で、その方のところに遊びに来たのが最初の会津です。故郷の松本の風景に似ていると思ったのが最初の印象でした。

その頃、独立したいと思っていたので、いろいろな場所を見ていて、会津若松市も候補地の一つでした。まず、福島県が実施している1年間のお試し移住制度を利用して空き店舗探しをしながら、市内をかなり歩きました。地方で商売をするために、人口がどのくらいいて、同じようなお店があるのかないのか、お店を出す場所や人の流れなども、自分で確認したかったです。知り合いの骨董屋さんにもよく話を聞きに行きました。会津若松市には骨董屋さんはあってもビンテージものを扱う古着屋さんはなくて、会津若松市で開業したら面白そうだったのが決め手です。

ちょうどここが貸店舗として出ているのを見つけ、七日町通りにも近く、白壁や使いこんだ木の雰囲気も気に入り、チャレンジするには良い場所だと思いここに決めました。

<オープンの準備>

2021年8月にお試し移住制度で県営団地の1室を借



りられました。生活に必要なものがある程度付いていて、月1万円で住めるのです。他の移住者と知り合うこともできて、いい制度だと思います。

店舗の場所を決めてからは会津若松商工会議所に通って事業計画を作成しました。出資してもらう準備は初めてでしたが担当の方が親切で助かりました。私の場合、お試し移住制度の1年間でオープンまでの準備を整えたかったので、他にもいろいろやる事が多く時間が足りないと思いました。

店舗は会津若松、お客様は全国

<会津若松市での仕事>

2021年12月にアンティークの店VACFF(バクフ)をオープンして、会津若松市や周辺の地域からビンテージや古いものが好きな方が買いに来てくれるようになりました。立地が観光スポットである七日町通りに近いこともあり、古いもの好きの観光の方も立ち寄ってくれます。「思いがけず良いものが買えた」というお声もいただいています。あとはインターネットで販売をしています。古着やアンティークの雑貨などは全国で探している人がいるので、探している人に伝わるように工夫しています。例えば、服のサイズだけ



でなく、服の縦と横の長さを図って載せたり、写真も実際の色に近いように撮るなど、手元に届いてから「ちょっと思っていたのと違う」とならないような工夫です。商品の梱包も発送も丁寧にするようにしています。

オープンしてまだ1年経っていませんが、仕入れのために古道具屋さんを回って自分で選んだものや、世界の古着、エスニックな品々などをお店に並べて販売できるのはいいですね。ディスプレイも古道具で集まったものや身近にあるものを工夫しながら楽しんでいきます。

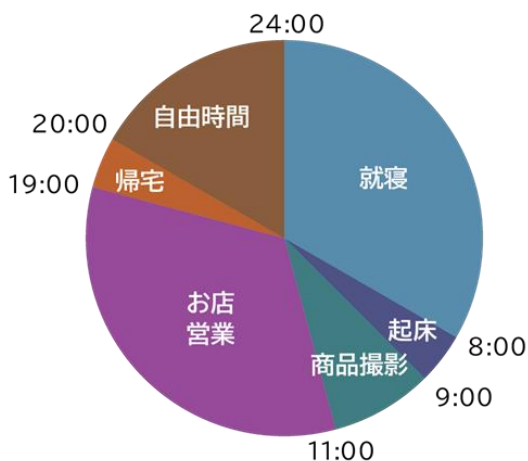
実はうちのお店の中のもの、ディスプレイも含めてすべて売り物なんです。値札が付いていないものでも気に入っていただけたなら販売します。

<会津若松市での暮らしと将来>

会津若松市で生活してみても困ったことは商店やレンタルCD店、雑貨店が少ないことです。必要なものがあれば車で60分ほどの郡山市まで買いに行くこともあります。

お店としては商品数も増やしてきましたし、お客様も増えてきました。会津地域にはめずらしいアンティークのお店ですので、何年も続けられるような店づくりを目指して、日々頑張っていこうと思っています。

ある一日のスケジュール



小島さんの行動歴

長野県生まれ ⇒ 愛知県(転校) ⇒ 東京都(大学)
⇒ 関東(就職) ⇒ 会津若松市へ

移住を検討している方にアドバイス

自分の足で回ったほうが良いと思います。お店を出したい人は事業計画と資金繰りが大事です。



アンティークの雰囲気がい店内にて

会津若松市について

現住人口 114,980人 男性/55,044人 女性/59,936人 令和4年4月1日現在

面積 382.99平方キロメートル

標高 海拔 218.32m(会津若松市役所)

最寄駅 JR磐越西線「会津若松駅」

最寄IC 磐越自動車道「会津若松IC」

保・幼稚園 認可保育所 11ヶ所 幼稚園 2園 認定こども園 18園

小学校数 公立 19校 私立 1校

中学校数 公立 12校 私立 1校

高校数 公立 6校 私立 3校

病院数 病院 7ヶ所 診療所 95ヶ所 歯科 54ヶ所

市の特徴 鶴ヶ城を中心とした歴史と伝統が息づく城下町。会津地方の中心地として都市機能を備え、行政や企業の出先機関や支店等も集中している。一方で、すぐそこには素朴な里山、田園風景が広がっている。現在は行政サービスや事業にICT(情報通信技術)を導入したまちづくり“スマートシティ会津若松”に取り組んでいる。

**移住
サポート
窓口**

会津若松市定住・二地域居住推進協議会 会津若松市役所(地域づくり課)
移住ウェブサイトaizuwakamatsu-iju.jp
電話:0242-39-1202
メール:shinko@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp

